

MGI015-04

会場:展示ホール7別室2

時間: 5月24日14:30-14:45

ERGサイエンスセンターにおける地上観測データベースの構築

Construction of database of ground-based observations at ERG Science Center

宮下 幸長^{1*}, 三好 由純¹, 関 華奈子¹, 堀 智昭¹, 瀬川 朋紀¹, 塩川 和夫¹, 西谷 望¹,
坂野井 健², 長妻 努³, 国武 学³, 田中 良昌⁴, 能勢 正仁⁵, 河野 英昭⁶, 行松 彰⁴,
細川 敬祐⁷, 村田 健史³, 湯元 清文⁸, 佐藤 夏雄⁴, ERGサイエンスセンタータスクチーム¹

Yukinaga Miyashita^{1*}, Yoshizumi Miyoshi¹, Kanako Seki¹, Tomoaki Hori¹, Tomonori Segawa¹,
Kazuo Shiokawa¹, Nozomu Nishitani¹, Takeshi Sakanoi², Tsutomu Nagatsuma³,
Manabu Kunitake³, Yoshimasa Tanaka⁴, Masahito Nose⁵, Hideaki Kawano⁶,
Akira Sessai Yukimatu⁴, Keisuke Hosokawa⁷, Ken T. Murata³, Kiyohumi Yumoto⁸,
Natsuo Sato⁴, ERG Science Center Task Team¹

¹名古屋大学太陽地球環境研究所, ²東北大学惑星プラズマ・大気研究センター, ³情報通信研究機構,
⁴国立極地研究所, ⁵京都大学大学院理学研究科, ⁶九州大学大学院理学研究院, ⁷電気通信大学情報通信工学科,
⁸九州大学宙空環境研究センター

¹STEL, Nagoya Univ., ²PPARC, Tohoku Univ., ³NICT, ⁴NIPR, ⁵Graduate School of Science, Kyoto Univ.,
⁶Graduate School of Science, Kyushu Univ., ⁷The Univ. of Electro-Communications, ⁸SERC, Kyushu Univ.

ERG (Energization and Radiation in Geospace) 計画は、内部磁気圏赤道面において粒子・電磁場・波動の総合観測を小型衛星により実現し、地上観測網・数値モデリングとの連携を活かして宇宙嵐時のジオスペース変動の物理機構を探る探査計画である。衛星観測の開始とともに、衛星・地上・数値モデリングを連携した総合解析を直ちに行えるように、名古屋大学太陽地球環境研究所にERGサイエンスセンターを設置し、昨年度から準備を進めている。まずは、国内の各機関が所有する、地磁気、レーダー、全天カメラのデータについて、データの種類や観測網ごとにばらばらになっている観測データをメタデータ付きのファイル形式(Common Data Format)に統一し、既に広く使われつつある統合解析ツール(TDAS)への対応を進めている。本講演では、進捗状況を報告する。

キーワード: ERG, 内部磁気圏, 地上観測, 地磁気, レーダー, データベース

Keywords: ERG, inner magnetosphere, ground-based observations, geomagnetic field, radar, database